



## 第6回 暮らし・<sup>なりわい</sup>生業再建本部会議

日時：令和2年9月25日（金）

11時～12時

場所：長野県庁3階特別会議室

1 復旧・復興に向けた取組の状況等について

2 その他

# (特別会議室)

〔令和2年9月25日(金) 11:00~12:00〕

出入口



**【テレビ会議】**  
副本部長(副知事)  
総務部長  
地域振興局長

林務部長 ○

○ 建設部長

観光部長 ○

○ 農政部長

信州ブランド推進監  
兼営業局長 ○

○ 産業労働部長

健康福祉部長 ○

○ 環境部長

危機管理部長 ○

○ 県民文化部長

危機管理監 ○

○ 企画振興部長

○

本部長  
阿部 守一

出入口

# 令和元年東日本台風災害 復旧・復興に向けた取組の状況等について



令和2年9月25日  
長野県

# 【目次】

<b>1</b>	<b>被害状況等について（危機）</b>	<b>03</b>
1-1	人的・住家被害等（危機管理部）	04
1-2	被害総額（ // ）	05
1-3	生活再建のための資金の配分（ // ）	06
<b>2</b>	<b>「暮らし」「住宅」の再建（健福・県文・建設・環境）</b>	<b>07</b>
2-1	見守り活動等、健康障害防止対策（暮らしの支援T）	08
2-2	医療機関・福祉施設等の復旧支援（健康福祉部、県民文化部）	11
2-3	住宅再建（住宅支援T）	16
2-4	災害廃棄物の処理（環境部）	18
<b>3</b>	<b>「生業」の再建（産労・農政・観光）</b>	<b>20</b>
3-1	産業の復興（産業復興T）	21
3-2	農業の復興（農業復興T）	24
3-3	観光の復興（「がんばろう信州！」推進T）	30
<b>4</b>	<b>インフラの復旧（建設・企画）</b>	<b>32</b>
4-1	インフラの復旧（インフラ復旧T、企画振興部）	33
4-2	流域治水の推進（建設部）	48
<b>5</b>	<b>ボランティア、NPO等の活動（健福・県文）</b>	<b>58</b>
5-1	ボランティア、NPO等の活動（健康福祉部、県民文化部）	59
<b>6</b>	<b>地域の取組（佐久、上田、長野、北信 地局）</b>	<b>62</b>
6-1	自治体、支援団体、個人の取組 等	63

# 1 被害状況等について

# 1-1 人的・住家被害等

## 【死者数内訳】

市町村名	数
長野市	10
飯山市	1
佐久市	2
東御市	1
小布施町	1

令和2年9月18日現在

※ ( ) は、前回公表  
(7月14日現在)  
との差

## 1 人的被害

・ <u>死者</u>	15 名	(+2)
<u>うち災害関連死</u>	10 名	(+2)
・ 行方不明者	0 名	(±0)
・ 重傷者	14 名	(±0)
・ 軽傷者	136 名	(±0)

## 2 住家被害

・ 全壊	920棟	(± 0)	1,083 世帯	(± 0)
・ <u>半壊</u>	2,515棟	(+ 5)	2,811 世帯	(+ 6)
・ <u>一部損壊</u>	3,535棟	(+69)	3,659 世帯	(+76)
・ <u>床上浸水</u>	2棟	(- 3)	5 世帯	(- 5)
・ <u>床下浸水</u>	1,360棟	(-47)	1,627 世帯	(-69)

## 【災害を踏まえた取組】

### ● 逃げ遅れゼロプロジェクト

- ・ 令和元年東日本台風の災害対応の振り返りを踏まえ、次の災害までに取り組むべき課題を整理。
- ・ 特に、喫緊の課題である「避難対策(逃げ遅れゼロ)」に取り組むことで、次の災害における人的被害を最小に抑える。

→住民への様々な働きかけ等を集中的に行うとともに適時適切な避難行動が行えるよう県と市町村とで支援  
(県と県市長会、県町村会による「逃げ遅れゼロ宣言」(R2.6.3))

# 1-2 被害総額



276,674 百万円

被害の別	発生数	単位	被害額(百万円)	備考
計	-	-	66,928	
農業関係	農作物・樹体被害	2,062 ha	1,925	
	生産施設等	1,219 箇所	8,575	
	農地・農業用施設	10,365 箇所	56,168	
	農業集落排水施設等	12 箇所	260	農村公園施設含
林業関係	計	1,818 箇所	4,685	
	治山	88 箇所	2,310	
	林道	1,730 箇所	2,375	
公共土木施設	計	1,298 箇所	70,861	
	河川	803 箇所	51,331	
	砂防	47 箇所	2,198	
	道路	448 箇所	17,332	
都市施設	計	75 -	40,433	
	下水道	55 箇所	38,138	
	公園	20 箇所	2,295	
商工業関係	925 件		81,744	
学校施設	173 校		1,281	
学校以外の教育施設等	83 施設		2,245	
社会福祉施設	133 施設		5,170	
医療施設	18 施設		1,366	
自然公園	23 箇所		123	
上水道	9 事業体		382	
浄化槽(市町村設置型)	5 基		2	
廃棄物処理施設	8 箇所		47	
公営住宅	1,032 戸		1,258	県営と市町村営の合計
警察施設等県有施設	41 箇所		149	県庁舎含む

令和2年9月18日現在

# 1-3 生活再建のための資金の配分

## (1) 支援金・災害見舞金の支給

被災者生活再建支援法を適用するとともに、法制度の対象とならない被災世帯に対して、信州被災者生活再建支援制度や災害見舞金により市町村と一体となって支援を実施 (令和2年9月1日現在)

区分	主体	支給対象の被害程度	支給額	対象世帯数	申請件数 a	支給件数 b	支給率 b/a
被災者生活再建支援制度	国	全壊・大規模半壊・解体	50万円 ～300万円	1,562世帯	1,474件	1,428件	96.8%
信州被災者生活再建支援制度	県 市町村	半壊	37.5万円 ～50万円	2,343世帯	2,091件	2,090件	99.9%
災害見舞金	県 市町村	半壊未満の床上浸水	10万円	431世帯	411件	408件	99.2%
合計				4,336世帯	3,976件	3,925件	98.7%

## (2) 義援金の配分

- ・ 受付額 2,706,891,101円(令和2年8月17日現在)
- ・ 配分額 2,674,402,000円(令和2年8月7日現在)
- ・ 市町村への配分日 第1回配分: 令和元年12月13日、第2回配分: 令和2年2月14日  
第3回配分: 令和2年8月7日
- ・ 被害区分当たりの配分額(第3回配分までの累積)

死亡	重傷	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊・ 床上浸水
980,000円	489,000円	980,000円	735,000円	489,000円	97,000円

- ・ 募集期間 令和3年3月31日

## 2 「暮らし」「住宅」の再建

# 2-1 見守り活動等、健康障害防止対策

## 【取組の進捗状況】

- **県生活支援・地域ささえあいセンターの活動【R1.12.18設置】**
  - ・ 統括生活支援相談員2名による、市町村センター活動の支援
  - ・ センター未設置市社協が行う被災者訪問活動等の支援(佐久市、千曲市、須坂市)
- **市町村生活支援・地域ささえあいセンターの活動**
  - ・ 被災者の孤立防止のための見守り、住民交流活動、日常生活上の相談支援
  - ・ 健康状態等に応じた「見守り区分(訪問頻度等)」に基づき、継続して訪問活動を実施

市町村名	設置日	相談員数	対象世帯数	訪問世帯数	未訪問世帯数※
長野市	R1.12.19	22名	795世帯	791世帯	4世帯
飯山市	R2.1.6	5名	168世帯	160世帯	8世帯
佐久穂町	R2.1.17	3名	138世帯	138世帯	なし
中野市	R2.2.1	2名	115世帯	115世帯	なし

※未訪問世帯については、手紙等で状況の把握を行っている。

(R2.8末時点)



住民交流活動の様子

- **生活支援・地域ささえあいセンターにおける主な相談内容、その対応状況**
  - ・ 一時使用期限が迫る公営住宅の使用延長、今後の転居先等に関する相談(長野市)  
→ 担当部局へつなぎ、住宅再建等に向けた支援を実施
  - ・ 公費解体制度について、家族間で話し合いが進んでいない、家財の搬出等の相談(中野市)  
→ 家族間の調整、市社協と連携し公費解体前の片付けボランティアの実施

## 【課題・今後の取組】

- ・ 見守り区分未決定の世帯の判定を完了させ、訪問活動を進める。
- ・ 住宅のリフォームが終了し、自宅に戻っているケースが増えてきているため、区長、民生委員と情報共有し、地域での支え合いの体制を整えていく。

## 【取組の進捗状況】

### ● 健康障害を防ぐための取組

#### ・ 避難所開設期間の取組

#### 【応急対応】

- ▶ DMAT、日本赤十字社等各種医療専門家チームも含めたアセスメント、施設支援、搬送支援、本部活動等

#### 【二次的健康被害の持続的な防止】

- ▶ 避難所の環境整備(段ボールベッド、パーテーション導入促進、寒さ・乾燥対策等)
- ▶ 感染症対策の実施(保健師、医療関係者、国立感染症研究所等) ▶ エコノミークラス症候群への対応
- ▶ 高齢者・乳幼児等の要援護者への宿泊施設提供
- ▶ ポピュレーション(住民全体)アプローチ
  - ・避難所巡回相談
  - ・浸水地域訪問
  - ・健康教室、講座
  - ・こころとからだの相談会の開催(各保健センターでの相談受付)
- ▶ ハイリスクアプローチ
  - ・要フォロー者への受診勧奨等

### ● 外部有識者の知見・過去の大規模災害を教訓にした取組の強化

災害時に求められる保健活動、避難生活の長期化に伴う健康障害の防止等に関し、発災後からの情報を共有し、有識者からの助言を得て取組に活かしていくため、研究会を開催

#### (1) 災害時に求められる保健活動の実践に関する研修会(R2.1.22)

- ・ 長野保健福祉事務所管内市町村保健師等対象  
講師 千葉大学大学院看護学研究科 教授 宮崎 美砂子 氏

#### (2) 健康障害の防止に係る研究会(R2.2.7)

- ・ 被災市町村保健師、社協職員等対象  
講師 北海道立病院局病院経営課人材確保対策室長兼医療参事  
石井 安彦 氏(前 北海道苫小牧保健所長)



## 【取組の進捗状況】

- 被災者のための「こころ・法律・仕事」の相談会
  - ・相談員 弁護士、精神科医、まいさぽ、保健師、市町村職員
  - ・実績

開催日	12/7（土）	12/15（日）	1/25（土）	1/26（日）
開催地	佐久穂町	飯山市	須坂市	長野市
対象地域	佐久・上小	北信	長野・上小	長野・上小
相談者数（件数）	2（2）	3（5）	5（8）	9（13）

## 【課題・今後の取組】

- 周知・広報の工夫
  - 周知期間の確保
  - マスコミ等を活用した広範囲な周知
  - 目立つチラシの作成
- 相談会後の継続支援
  - 県・市町村スタッフ間での相談内容の共有
  - 専門・関係機関へのつなぎ
- 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に配慮した開催方法の検討

## 2-2 医療機関・福祉施設等の復旧支援

### 【取組の進捗状況】

#### (1) 総合リハビリテーションセンターの復旧

病棟、施設棟等の1階が床上浸水し、受変電設備、ボイラー、機械設備、多数の医療機器等が浸水。  
令和元年度11月補正予算において、765,933千円の災害復旧費を計上。すべての施設の復旧工事が完了。

#### ＜復旧状況＞

- ・ 令和元年10月16日 更生相談室の業務を再開
- ・ 令和元年11月 6日 補装具製作施設の業務を再開
- ・ 令和元年11月11日 外来診療を再開
- ・ 令和元年12月28日 施設部門の入所者等の受入を再開
- ・ 令和2年 3月30日 病棟での患者の受入を再開

被災時



正面駐車場



被災時

病棟1階



復旧後

被災時



CT

復旧後



被災時に他病院に転院したすべての入院患者・入所者について、  
フォローアップを実施し、必要なサービスを提供している。

# 【取組の進捗状況】

## (2) 長野県障がい者福祉センター(サンアップル)の復旧

屋外施設(陸上競技場、テニスコート等)が浸水。屋内施設(体育館、ホール棟)は1階が床上浸水し、機械設備や備品の一部が浸水。令和元年度11月補正予算において、228,703千円の災害復旧費を計上。すべての施設の復旧工事が完了。

### <復旧状況>

- ・ 令和元年11月 9日 北信地域の出張スポーツ教室「サンスポートながの」を再開
- ・ 令和2年 1月 11日 トレーニング室、卓球室、遊戯室、会議室、宿泊室、アーチェリー場、陸上競技場を再開

※新型コロナウイルス感染症対策のため令和2年3月3日から6月1日まで休館



被災時

正面玄関



復旧後



被災時

廊下



復旧後



被災時

テニスコート



復旧後



被災時

トレーニング室



復旧後

体育館・ホール・プールの耐震化工事(吊天井補強)も完了し、施設を再開。  
(令和2年7月にホール・プール、令和2年8月に体育館を再開)

## 【取組の進捗状況】

### (3) 社会福祉施設等の復旧

#### <医療施設>

被害状況
病院、診療所、歯科診療所 計17施設 ○床上浸水11施設 ○床下浸水等 6施設



復旧状況
16施設完了

※1施設が廃止

#### <高齢者施設>

被害状況
計33施設 ※軽微な損壊除く ○床上浸水 28施設 (うち利用者向け施設21) ○床下浸水 5施設



復旧状況	
完了	復旧見込み
	11月まで
29	3

※1施設が廃止

#### <障がい者施設>

被害状況
グループホーム、通所施設 計13施設 ○床上浸水 8施設 ○床下浸水 5施設



復旧状況
13施設完了

※医療施設:国へ補助金の協議等を実施済み

※高齢者施設:施設の復旧については、順次査定を実施している。

※高齢者施設、障がい者施設:被災施設の設備・備品の復旧に対し、補助金を交付。

<児童福祉施設>

被害状況
保育所 計5施設 ※軽微な損壊除く ○床上浸水4施設 ○床下浸水1施設
子育て支援センター、放課後児童クラブ 計4施設 ※軽微な損壊除く ○床上浸水4施設



復旧状況		
完了	復旧見込み	
	R2年度中	R3年度以降
長野 1 飯山 1(プール)	千曲1(10月)	長野1(検討中) 千曲1(R4.4月)
須坂 1 長野 1 千曲 1		長野1(検討中)

※復旧が完了していない保育所は、仮設園舎又は他の施設で保育を実施。放課後児童クラブは他の施設で実施。

<千曲市>

杭瀬下保育園

被災後



R2.8末時点

現況（復旧工事中）



R2.8末時点

仮設園舎で保育実施中



<飯山市>

しろやま保育園

被災後



R2.8.末時点

現況（竣工後）



## 【課題・今後の取組】

### ● 再開に向けた支援

#### <児童福祉施設>

- ・ 災害復旧事業補助金を活用して引き続き復旧工事を支援

# 2-3 住宅再建

## 【取組の進捗状況】

### ● 応急的な住まいの提供・住宅の応急修理の状況 (R2.9.1時点)

入居戸数 区分	公営住宅等(※1)		応急仮設住宅(※2)		計	応急修理(※3)		
	県営	市町村営	借上型	建設型		申込	依頼	完了
長野市	39	41	484	76	640	1,158	1,099	1,020
長野市以外	8	30	48	—	86	633	606	549
計	47	71	532	76	726	1,791	1,705	1,569
提供戸数累計	92	155	646	91	984	完成割合		87.6%

- ※1 原則1年間（自宅等再建工事未完了者及び災害公営住宅入居者は、最長1年間延長可）
- ※2 最大2年間
- ※3 日常生活に必要な部分の修理



【木造】



【プレハブ】

建設型応急仮設住宅

### ● 住宅相談の実施

総合住宅相談	建築、不動産、税務、法務等の専門家による机上相談	2市7回、相談者数：87人
現地相談	被災住家にて、復旧・復興の具体的なアドバイス等を実施	相談件数：122件



現地相談の状況

- 災害復興住宅建設事業補助金(一部利子補給)：建設・購入 18件、補修 23件
- 環境配慮型住宅助成金の活用 (R2.9.1時点) : 建設 1件、リフォーム 25件
- 各種支援制度等の情報発信 : 市町村広報誌・チラシ、窓口案内等



## 【課題】

### ● 住宅再建を検討中の世帯等へのサポート

<主な理由>

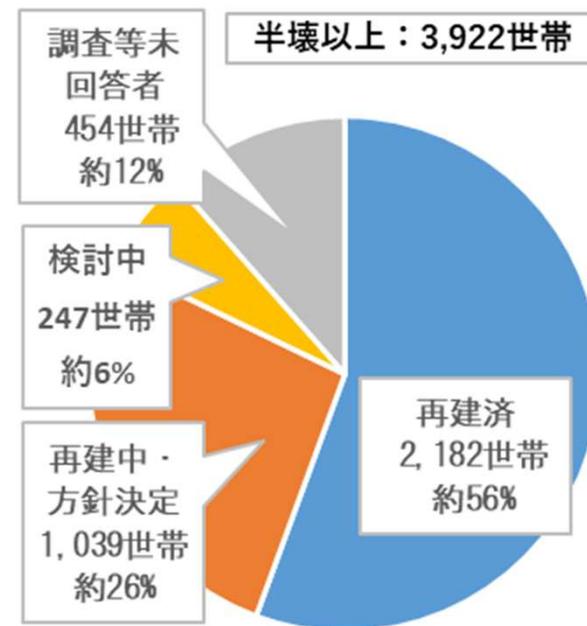
- ・被災住宅に戻るか悩んでいる
  - ・再建資金不足
- 等

### ● 住宅再建意向調査等の未回答者の意向確認 (参考：長野市 第3回調査実施中 R2.9月)

### ● 自立再建が難しい要配慮者世帯への支援

## 住宅再建状況（半壊以上世帯対象）

《令和2年9月1日現在：市町村聞き取り》



## 【今後の取組】

### ● 市町村・福祉部局と連携し、住宅再建に向けた『きめ細かな支援』を実施

- ・住宅相談（現地調査アドバイス含む）の実施
- ・広報紙等による各種支援制度の情報発信
- ・福祉部局と連携し、高齢者・要配慮者等の状況把握に努め、住宅再建のサポート

### ● 住宅再建進捗状況の定期的な把握

### ● 災害公営住宅の建設(長野市):市営住宅美濃和田団地 63戸、追加検討中

# 2-4 災害廃棄物の処理

## 【取組の進捗状況】

### ● 災害廃棄物処理の推進

- ・災害廃棄物について、被災市町村では片付けごみの処理は概ね終了し、現在は被害の大きかった市町村において公費解体を実施している状況。
- ・県は、被災市町村が円滑に公費解体等が実施できるよう、引き続き助言を実施。

被害状況 16市町村



進捗状況			
完了	完了見込み		
	R2年 9月まで	R3年 3月まで	R3年 9月まで
5	4	6	1

発災後2年間での処理完了を目標

長野市(赤沼公園)



令和元年10月26日時点



令和元年12月27日時点

千曲市(旧名月荘跡地)



令和元年11月7日時点



令和元年11月18日時点

## 【取組の進捗状況】

### ● 国や団体等による支援

- 発災直後の長野市においては、市が設置した災害廃棄物仮置場以外で、地域の公園などに集積された廃棄物については、自衛隊、ボランティア、他県市町村応援車両、(一社)全国清掃事業連合会等が連携し搬出作業が行われた。
- 「Operation: One Nagano」の名称で、ボランティアが 災害廃棄物を昼間に赤沼公園等に一時集積させ、自衛隊が夜間トラックで地区外に搬出する作業を実施した。



自衛隊による搬出作業

## 【今後の取組】

- 被災市町村が実施する災害廃棄物処理が円滑に進むよう継続して助言を実施
- 令和元年東日本台風に係る災害廃棄物処理の初動体制について国と連携して検証をすすめていく
- 災害廃棄物処理計画を未策定の市町村において、国と連携して計画策定を支援していく

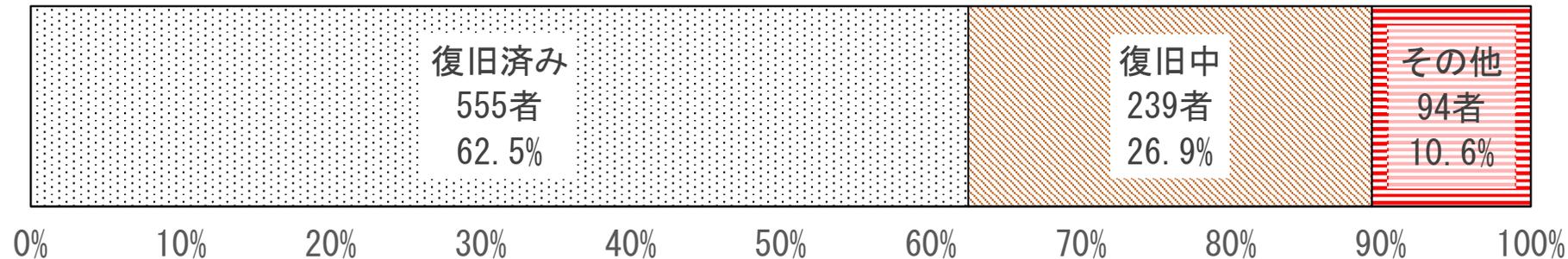
# 3 「生業」の再建

# 3-1 産業の復興

## 【取組の進捗状況】

### ● 事業の再開

- 被災中小企業888者の復旧状況



※ その他：事業再開したが復旧方法を再度検討、廃業など

- 復旧事例(長野市内の調剤薬局 グループ補助金を活用し令和元年12月に復旧)



【被災後】

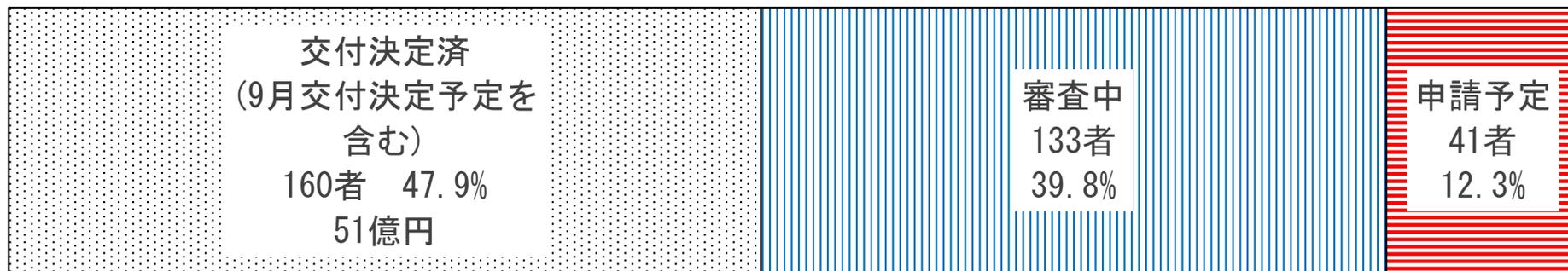


【復旧完了】

## 【取組の進捗状況】

### ● 支援制度の活用

- グループ補助金(県)：認定36グループ、補助金活用見込み 334者



- 企業再建補助金(県)：交付決定済 33者 3.1億円、補助金活用見込み70者
- 持続化補助金・台風19号型(国)：採択事業者 503者  
※ 商工会・商工会議所を通じて補助

### ● Build Back Better の事例

- グループ活動: BCP策定等による「災害に強い企業体質づくり」への取組がスタート
- 製造業: 支援制度を活用して生産体制を見直すとともに、同業他社と連携する仕組みを構築し、被災時の事業継続を目指す
- サービス業: チェーン店で多店舗を集約して新たなサービスを提供  
地域住民が集う場を作るなど、多様化するニーズや非常時に対応できる復旧

## 【課題】

- 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、売上げ回復の遅れや、施設の工事・設備の導入に時間を要する等、復旧・復興が長期化している
  - ・ 製造工場の仮復旧を行ったが、課題が生じたため移転建替に変更。設計・施工期間が長期化する。
  - ・ 感染症の拡大により、県外業者による現地調査が数か月間できず、交付手続きが大幅に遅れている。
  - ・ 公共工事の着手困難や市町村による公費解体工事の順番待ちのため、復旧工事が開始できない。
- 事業再開や継続を決断できない事業者がいる
  - ・ 経営者の高齢や後継者不在などにより、復旧を躊躇している。



護岸工事の実施後に施設の修繕工事を実施予定（令和2年9月2日撮影）

## 【今後の取組】

- 県補助制度について、被災事業者の復旧状況と資金ニーズに対応するため補正予算で増額するとともに、年内に交付決定を進める。
- 事業再開が進展していない事業者について、経営や事業承継等のサポートを行う。

# 3-2 農業の復興

## 【取組の進捗状況】

### ● 農地の復旧

- 千曲川の氾濫により堆積した土砂やゴミについて、農業ボランティアによる排土や国庫補助の災害復旧事業により、すべての撤去が完了

市町村	撤去対象 (ha)		進捗状況 (完了時期)
	堤内地	堤外地	
長野市	117	174	完了 (R2. 5月)
須坂市	3	37	完了 (R2. 6月)
千曲市	2	21	完了 (R2. 7月)
坂城町	-	3	完了 (R2. 4月)
小布施町	-	31	完了 (R2. 6月)
中野市	30 (無堤地)		完了 (R2. 5月)
計	418		



【農業ボランティアによる果樹園の土砂・ゴミの撤去】

千曲川沿いの6市町で  
果樹園等の土砂撤去作業が完了

## 【取組の進捗状況】

### ● 営農の再開支援

＜果樹園・畑（主に長野・北信地域）＞

- ・ 被災したりんご、もも、長いも等について、春先から平年並に作業が実施され、営農を再開

#### 【りんごの営農再開状況】

- ・ 園地に土砂が堆積
- ・ 樹上にゴミが引っかかっている



- ・ 春先からの防除作業や摘果作業は平年並に実施
- ・ 概ね順調に生育し、8月から収穫が始まっている

須坂市

被災時



営農再開



#### 【長いもの営農再開状況】

- ・ 畑に土砂が堆積
- ・ 支柱が倒れ、葉も泥だらけ



- ・ 春掘りを平年並に実施
- ・ 5月の少雨により萌芽期がやや遅れたが、その後は順調に生育

長野市

被災時



営農再開



# 【取組の進捗状況】

## ● 営農の再開支援

＜水田（主に佐久・上田地域）＞

- 取水施設の被災で影響を受けた水田約1万haのうち、99%で取水期（4月）までに仮復旧等により農業用水を確保し、営農を再開

区分	箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)
被災した 取水施設*	330	9,926 (100%)
R 2 通水		
可	318	9,838 ( 99%)
不可	12	88 ( 1%)

※災害復旧事業の対象に限る



- 用水が確保できなくても、作付けが可能な農地では、極力、大豆等の代替作物を栽培するよう、代替品目の選定、栽培技術の指導を行うとともに、転作作物への交付金の活用を周知するなどの支援を実施

代替作物品目	市町村
大豆	東御市
飼料用作物 (とうもろこし等)	
その他 (自家用野菜等)	



## 【取組の進捗状況】

### ● 生産施設・農業機械の復旧

- 集出荷施設・加工施設等について、国の支援事業を活用し、施設の復旧工事を実施

#### ＜復旧状況＞

農産物直売所「JAアグリながぬま」 4月29日に再開

長野平ライスセンター 6月30日に復旧完了

長野平フルーツセンター 9月完了

グループ補助金

(中小企業組合等共同施設等災害復旧事業)

強い農業・担い手づくり総合支援交付金

浸水被害を受けた長野平ライスセンターの米倉庫の復旧が完了

(Build Back Betterのポイント)

- 復旧した冷蔵庫について、電源装置や冷却機の位置を1.5m嵩上げし、より災害に強い施設にした

長野市

復旧前



復旧完了



- 被災した農業機械や格納庫、農業用ハウス等の修繕・再建、撤去について、国の支援事業により、市町村と協調して県の上乗せ補助を行い、支援を実施

○ 国の支援事業 強い農業・担い手づくり総合支援交付金(被災農業者向け)

○ 補助率(農業機械、格納庫、農業用ハウス等) 国:5/10以内 県:2/10以内 市町村:2/10以内

○ 実施状況

市町村数	件数	事業費
26	8,026	6,857,627千円

# 【取組の進捗状況】

## ● 農業用施設の復旧

### 浸水した小森第1排水機場の復旧

(Build Back Betterのポイント)

- 排水機場の浸水による再度災害を防止するため、電気設備を嵩上げして設置



### 損壊した水路（サイホン）を撤去し、新しい管を設置

(Build Back Betterのポイント)

- 再度災害を防止するため、水路（サイホン）の周りをコンクリートで補強



### 損壊した農道を復旧



## 【課題・今後の取組】

### ● 営農の再開支援

#### ＜果樹園・畑＞

- 一部で改植が必要な樹園地は、果樹産地再生支援対策(国庫)を活用して順次改植を実施
- 一部、苗木の手配が間に合わない、営農再開後に枯死した(主にもも等の核果類)等の理由による改植について、令和3年以降を含めて対応

改植時期	改植面積
R1年	1.2ha
R2年	174ha (9/2現在)
合計	175.2ha

※R3以降も補助事業による支援を継続して実施するよう国に要請中



#### 【ももの改植状況】

#### ＜水田＞

- 大規模な土砂流入等で復旧に時間を要する農地(佐久・上田地域で123ha)は、河川の護岸復旧工事と並行して復旧する必要があり、今後、災害復旧事業を活用して実施予定
- 災害復旧事業の実施設計書作成、河川協議、計画変更手続など、市町村への技術支援を引き続き実施

### ● 生産施設・農業機械の復旧

- 事業要望があった集出荷施設や加工施設、農業機械等の復旧が今年度中に完了するよう、引き続き支援を実施(農地の復旧完了後に着手する生産施設等で一部完了時期が遅れる場合あり)

## 【取組の進捗状況】

- 旅行・宿泊商品に対する支援(割引)による需要喚起
  - ・「ふっこう割」による国内外の旅行者を対象にした商品の販売  
(令和元年12月17日～令和2年3月14日宿泊分(12/28～1/3宿泊分を除く))

○販売(割引)額 3億6,672万円(国内客2億8,582万円、海外客8,090万円)  
 ○延べ宿泊者数 80,971人泊(国内客61,648人泊 海外客 19,323人泊)



- ・信州まつもと空港発着路線を利用した応援ツアーの造成【企画振興部】

- 心を一つにするためのアイコン「ONE NAGANO」の発信
  - ・民間放送局5局連携テレビCM「ONE NAGANO CMキャンペーン」



- 観光・物産両面からの被災地支援
  - ・無印良品銀座での被害りんご販売【営業局】
  - ・JR長野駅への被災農家応援バナー掲出【営業局】



ONE NAGANO CMキャンペーン



被災農家応援バナー



被害りんご販売



応援ツアー造成

## 【課題】

### ● 落ち込んだ観光需要の回復

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、1月後半から訪日外国人の利用が伸びず、2月下旬からは国内客の旅行控えの傾向も強まった
- 4月に全国での新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和元年台風第19号災害から地域経済の早期回復に向けた取組を一旦中断

## 【今後の取組】

- 5月に緊急事態宣言が解除されたことから、災害復興も含めた「信州地域支えあいキャンペーン」を展開し、経済再生に取り組む
- 観光客とその受入側の観光地双方にとって安全・安心な観光地域づくりを目指し、感染拡大防止と観光振興の両立を図る
- 全国を対象とした旅行・宿泊商品に対する割引支援を実施し、被災地域をはじめとした県内観光需要の早期回復を図る

# 4 インフラの復旧

# 4-1 インフラの復旧

## 【取組の進捗状況】

- 災害復旧事業(改良復旧除く)
  - ・災害復旧工事(市町村工事を含む)は概ね9割に着手し、約47%が完成(農地を除く施設復旧完了は約18%)
  - ・公営住宅の復旧工事は7月に全て完了
  - ・災害発生年度を含め令和3年度工事までで全ての復旧工事を完了する計画であり、概ね順調に進捗

## 【事業実施体制】

- ・被災地域において、建設部、農政部、林務部、他県等の応援職員で技術、事務職員を約50名増員
- ・被害が特に大きい佐久地域において、市町村工事を含めた災害復旧の円滑な進捗を図るため、工事マネジメント業務を県内で初めて導入。安全管理、資機材の調整により円滑に工事を推進

災害復旧工事 5,258箇所	着手	4,563 86.8%		期間 R元~R3年度 復旧費 約1,014億円
	完了	2,502 47.6%		

### 事業種別 進捗状況

※箇所数により算出。改良復旧の親災を除く。復旧費は査定決定額による。

項目	箇所数	上段：済・率(本工事着手)		下段：済・率(工事完了)		備考 (復旧事業の概要等)
河川	782	721	92.2%	82	10.5%	期間 R元~R3年度 復旧費 約319.7億円
道路	443	410	92.6%	138	31.2%	期間 R元~R3年度 復旧費 約96.2億円 橋梁：31カ所
砂防	67	60	89.6%	3	4.5%	期間 R元~R3年度 (災害関連はR2年度) 復旧費 約55.8億円
林務施設	226	142	62.8%	9	4.0%	期間 R元~R3年度 復旧費 約28億円
農地	2,911	2,528	86.8%	2,076	71.3%	期間 R元~R3年度 復旧費 約169.6億円
農業用施設	756	631	83.5%	163	21.6%	期間 R元~R3年度 復旧費 約149.3億円
下水	44	44	100.0%	16	36.4%	期間 R元~R3年度 復旧費 約183.4億円 (農業集落排水含む)
都市公園	20	18	90.0%	6	30.0%	期間 R元~R2年度 復旧費 約8.3億円
公営住宅	9	9	100%	9	100%	期間 R元~R2年度 復旧費 約3.7億円

## 【取組の進捗状況】

### ● 災害復旧事業(河川)

一級河川 雨川 佐久市 第2雨川踏切下



発災直後(令和元年10月)



工事竣工(令和2年6月)

(Build Back Betterのポイント)

河床洗堀などの被災原因を考慮した工法により再度災害防止を図った

## 【被災箇所における住民の警戒・避難体制】

- ・復旧中の箇所においては、雨量計や水位計、土石流センサー等を設置し、危険な状況となった場合に避難を呼びかける連絡体制を構築

## 【取組の進捗状況】

### ● 災害復旧事業(道路)

#### 県管理道路の規制状況

台風による規制	R2.9.15時点の規制
120路線191区間 (事前規制含む)	8路線8区間 (全面通行止め)

#### 解除見込み

R2年度	R3年度
3区間※	※一部冬期通行止あり
3区間※	2区間

※天候等の影響により変更となることがあります

### 主要地方道 丸子東部インター線 東御市 田中橋



(Build Back Betterのポイント)

河床洗堀などの被災原因を考慮した工法により再度災害防止を図った

# 【取組の進捗状況】

## ● 改良復旧事業

- ・佐久市田子川等16箇所(市町村2箇所含)で改良復旧事業を実施しており、仮復旧工事は完了
- ・用地測量や地域の皆さんと協議を進め、用地内で工事可能な箇所は本工事に着手済
- ・令和3年度から令和5年度の完成目標で事業を推進

### ■ 田子川 佐久市 常和

#### ○ 事業内容

既設護岸の「拡幅」による改修を行う。  
両岸へ河川管理用道路を新設する。

#### ○ 取組状況

いち早く出水期の安全性を確保するため、被災箇所の応急工事を実施済。現在、用地補償、復旧工事を実施中

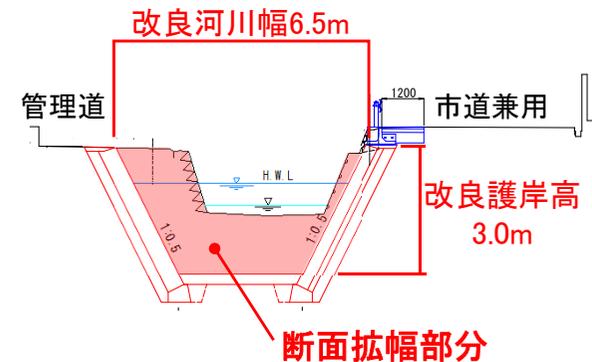


### (Build Back Betterのポイント)

現況河川断面を拡幅し、流下能力を向上することにより、護岸損傷と越水の防止を図る。



### 【改良復旧断面】



## 【取組の進捗状況】

### ● 土砂災害対策

- ・緊急に行う土砂災害対策として、全23箇所では着手済。
- ・強靱ワイヤーネット、工事用道路等の準備工は完了し、砂防堰堤等の本体工事を実施中
- ・さらに継続して行う土砂災害対策として、令和2年度に15箇所を新規採択し、調査設計を実施中。令和3年度以降、順次、砂防堰堤等に着手予定

## 【施工状況】

災害関連緊急砂防事業  
○上田市 見切沢 虚空蔵



(Build Back Betterのポイント)  
流出した土砂が再度流れ出すのを防ぐため、砂防堰堤工等を推進



## 【施工状況】

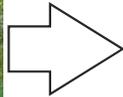
災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業  
○佐久市 入沢口区域 入沢

(Build Back Betterのポイント)  
がけ崩れの拡大を防ぐため、法面工等を推進



## 【取組の進捗状況】

### ● 林道施設災害復旧事業 路肩決壊の復旧



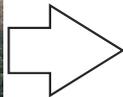
林道鴻ノ巣富士山線(上田市)  
幅員:4.0m、延長:28m 被害額17,213千円

【復旧工法】 盛土932 $\text{m}^3$ 、大型カゴ工24m、  
法面保護工449 $\text{m}^2$ ほか

(Build Back Betterのポイント)

雨水集中、法面崩落などの被災形態を考慮した復旧工法により、再度災害防止を図った

### ● 災害関連緊急治山事業 山腹崩壊の復旧



上田市 鹿教湯(上田市)

【復旧工法】 山腹工0.20ha、法枠工(モルタル吹付)2,225 $\text{m}^2$ ほか

現在倒木処理完了、法面整形施工中

(Build Back Betterのポイント)

山腹の崩落拡大を防ぐため、法面工等を推進

## 【取組の進捗状況】

### ● 国土交通省による対策

#### (1) 千曲川長野市穂保地区の復旧

- ・決壊箇所を含む延長140m間の川表側及び川裏側(住宅地側)の法面について、コンクリートブロックによる補強と天端保護工が完了
- ・140m間を含む前後560m間については、川裏側(住宅地側)法面のコンクリートブロックによる補強と天端保護工が完了

#### (2) 穂保地区以外の越水による堤防被災箇所

- ・堤防川裏の法面が崩れた4箇所について、堤防の復旧が完了

#### (3) 権限代行による災害復旧箇所

- ・東御市千曲川海野地先～田中地先ほか、4箇所で権限代行による復旧を実施
- ・東御市海野地先での復旧工事はコンクリートブロック張工を進め、8月中旬現在で約9割の進捗
- ・国道361号 権兵衛峠道路災害復旧については、飯田国道事務所において、本復旧工事を実施中
- ・その他箇所についても、概ね工程どおりに進捗

### 【復旧状況】



【施工中】東御市 海野地先



【完了】佐久市 原地先



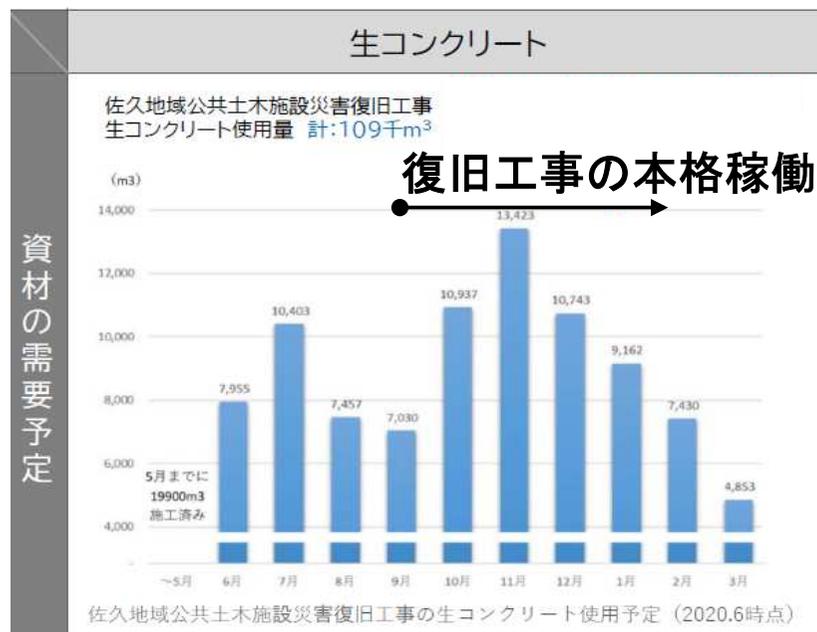
【完了】小海町 千代里地先

## 【課題】

- 災害復旧工事が本格化する時期における資機材の確保、調整
  - ・ 本格的な復旧工事の稼働により、生コンクリートやコンクリート二次製品等の資機材について、市町村、農業施設を合わせた確保、調整が必要
- 改良復旧の課題
  - ・ 用地買収や家屋移転が必要となる箇所が多いため、事業計画段階から地元説明会等を開催し、地域の了解を得ているが、引き続き、地権者との協議を丁寧に進めることが必要。
- 林務関係施設災害復旧の課題
  - ・ 国道、県道、河川等生活に直結する施設の復旧を優先しており、山間地の林道災害復旧事業は発注が後発となっている。

## 【今後の取組】

- ・ 災害復旧工事マネジメント業務を導入し、工事の効率化や建設関連企業間の地域内での情報共有、連携強化を図る
- ・ 地域との連携を着実にいき、事業進捗を図る。
- ・ 入札に当たって、地域ごとに発注ロットを集約する等入札要件を考慮した発注を進める



## 【災害を踏まえた取組】

### ● 台風災害を踏まえた各種対策

#### <既存施設を活用した対策>

- ・ダム of 事前放流を利水ダムを含めて令和2年5月29日から運用開始

#### <緊急時に備えた対策>

- ・排水ポンプ車の増強のため、2台の配備を推進
- ・浅川第一排水機場故障に伴う対応は、仮設ポンプ(市)及び排水ポンプ車(国・県)により対応予定

#### <情報提供に係る対策>

- ・浸水想定区域図、法定34河川は令和元年度に策定。令和2年度末までに101中小河川について作成予定
- ・令和2年度末までに危機管理型水位計を300基、簡易型河川監視カメラを190基を設置予定
- ・防災情報の提供体制強化として、ケーブルテレビ2社による防災情報の提供を開始。放映局拡大を調整中
- ・河川砂防情報ステーションのアクセス集中によるサーバーダウンを防ぐため、処理能力の強化を令和2年6月に実施済。さらに令和2年度末までにサーバーを1台増設する予定

令和2年7月豪雨において、状況確認にカメラ映像を活用



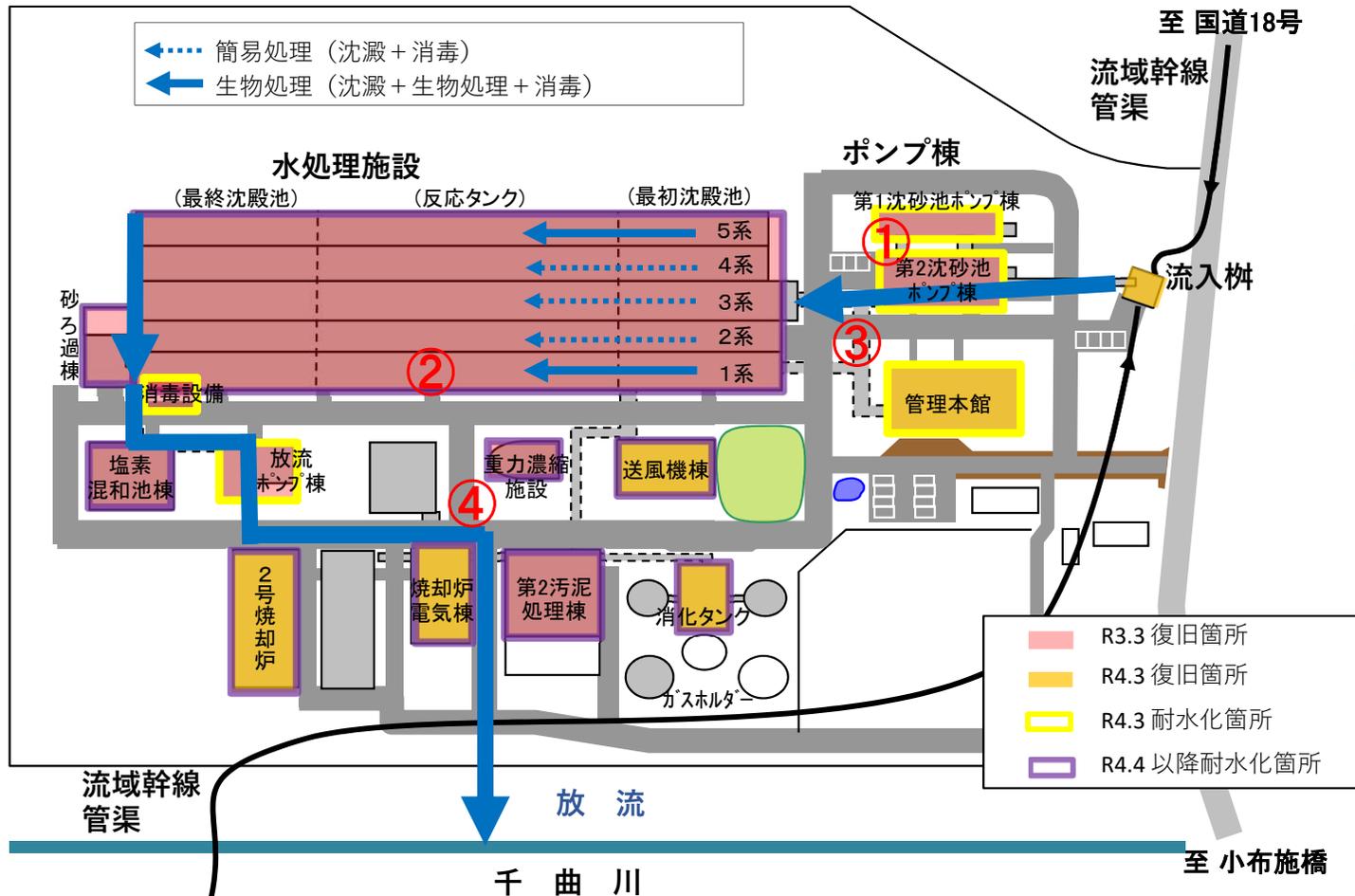
# 4-1 インフラの復旧（下水道）

## 【取組の進捗状況】

- クリーンピア千曲の復旧
  - ・ 5つある水処理系列のうち、2つの系列を仮復旧済み
  - ・ 残りの系列は11月から順次復旧し、令和3年4月から全水処理施設を本稼働する計画
  - ・ 施設全体の復旧は令和4年3月末までに完了する計画

	R1年度		R2年度											R3年度	
	~3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4~	
水処理系列の復旧予定	5系（生物処理）		仮復旧（R1.12.16~）										切替工事	本稼働	
	4系（簡易処理）		復旧工事								本稼働				
	3系（簡易処理）		復旧工事								本稼働				
	2系（簡易処理）		復旧工事								本稼働				
	1系（生物処理）		仮復旧（R1.11.29~）										切替工事	本稼働	
水処理施設	工場整備・工場製作・設置														
	順次復旧											全施設本稼働			
汚泥処理施設	工場整備・工場製作・設置														
	順次復旧														

# 【取組の進捗状況】



①本復旧工事



④仮設汚泥脱水機



②水処理施設仮復旧



③仮設受変電設備



## 【取組の進捗状況】

### ● 施設の耐水化

- 1/100確率の浸水に対応した施設の耐水化を並行して進める



(Build Back Betterのポイント)  
再度の災害防止策として電気設備の上階への移設、耐水扉の設置、開口部の閉塞を行う

## 【課題・今後の取組】

- 地域等へ情報提供を行いながら、早期復旧を進めていく

## 4-1 インフラの復旧（鉄道）

### 【取組の進捗状況】

#### ● 上田電鉄(株)別所線の復旧

- 千曲川左岸堤防の洗堀により、上田電鉄(株)別所線上田駅～城下駅間の橋梁が落橋。
- 非出水期に入った11月より、調査・測量、橋桁の撤去、堤防本復旧に合わせた橋台構築・橋脚補強を順次実施
- 出水期である現在、工場にて新たな橋桁を製作中。

### 上田電鉄(株)上田駅～城下駅間橋梁

被災直後



R2.2月末時点



R2.6月末時点



## ● 不通区間における代替輸送の実施

- しなの鉄道(株) しなの鉄道線 田中駅～上田駅間(R1.10.23～11.14)、上田電鉄(株) 別所線 上田駅～下之郷駅(R1.10.15～11.15)間において、代替輸送を実施。
- 上田電鉄(株)別所線は、現在も上田駅～城下間が不通となっており、復旧後全線再開までの間、バスによる代替輸送を継続中。

### しなの鉄道



運行期間	R1.10.23～11.14(23日間)
輸送方法	バス・新幹線(便宜輸送)
利用者	バス 1,076人/(平日)
	新幹線 1,443人/日(平日)
備考	利用者は学生に限定

### 上田電鉄



運行期間	R1.10.15～R3.3.27(予定)
輸送方法	バス
利用者	上田～下之郷間 (R1.10.15～11.15) 2,935人/日
	上田～城下間 (R1.11.16～R2.8.31) 1,608人/日

## 【課題・今後の取組】

### ● 上田電鉄(株)別所線の復旧

- ・ 非出水期に入った11月以降、別所線全線運転再開予定日である3月28日に向けて、橋梁架設等を順次実施。

### ● 不通区間における代替輸送の実施

- ・ 別所線全線運行再開までの間、バスによる代替輸送を継続し、国、上田市とともに支援予定。

## 【災害を踏まえた取組】

### ● 不通区間における代替輸送の実施

- ・ しなの鉄道では、今後の大規模災害時の迅速な代替輸送を図るため、(株)JT B長野支店と代替バス手配の覚書を締結。(R2.4.1)

# 4-2 「流域治水」の推進

- 令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した信濃川水系において国、県、市町村が連携し、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進める。
- 国、県、市町村が連携し、①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】 ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】 ③減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】の取り組みを実施していくことで、信濃川本川及び千曲川本川の堤防で被災した区間で越水防止を目指す。



国土交通省資料より

**■河川における対策**

事業期間	令和元年度～令和9年度
目 標	【令和6年度まで】 令和元年東日本台風（台風第19号）洪水における ・千曲川本川の大規模な浸水被害が発生した区間等において越水等による家屋部の浸水を防止 ・信濃川本川の越水等による家屋部の浸水を防止 【令和9年度まで】 令和元年東日本台風（台風第19号）洪水における ・千曲川本川からの越水等による家屋部の浸水を防止
対策内容	河道掘削、遊水地、堤防整備・強化

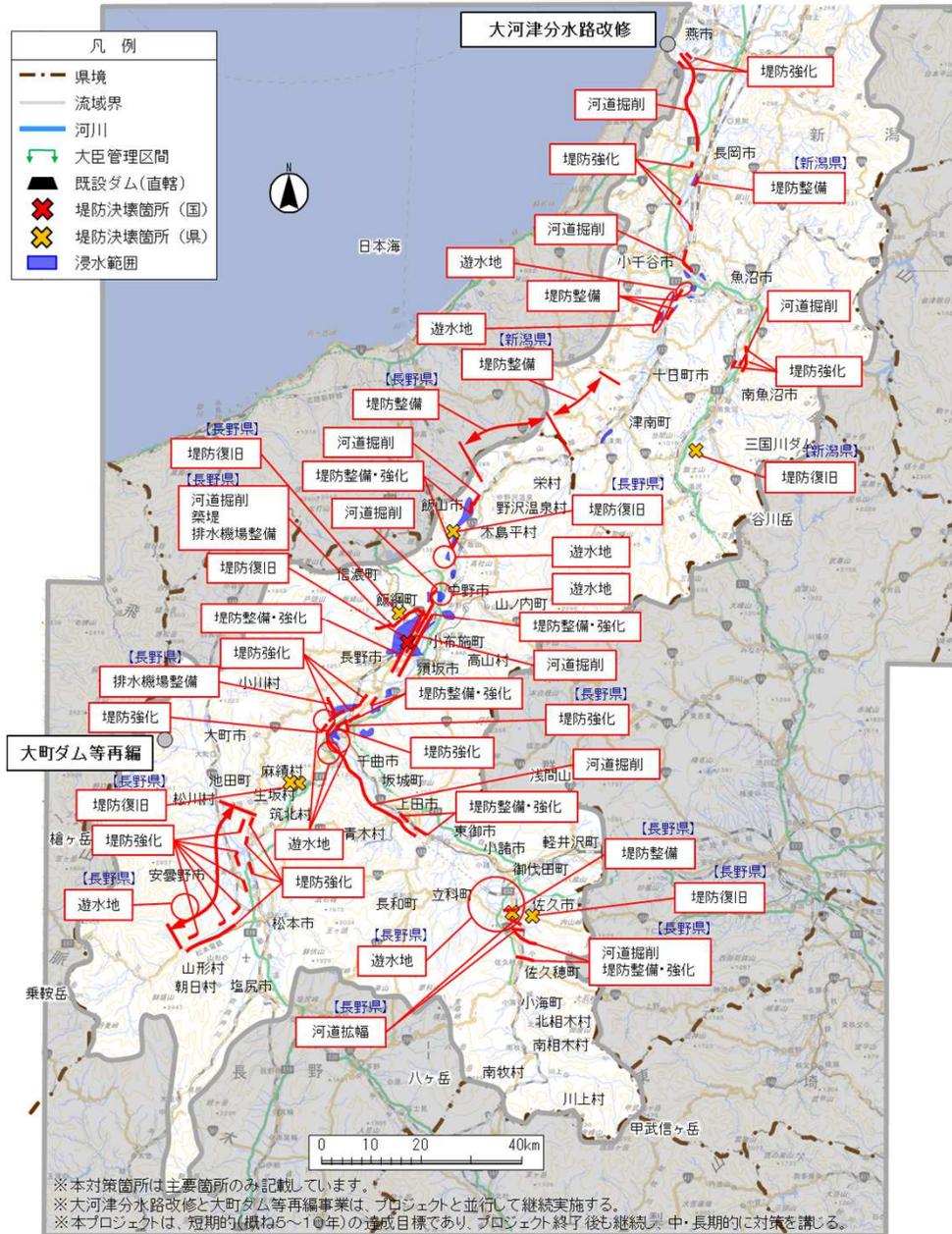
**■流域における対策**

- ・ため池等既存施設の補強や有効活用
- ・田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- ・学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設
- ・排水機場等の整備、耐水化の取組
- ・防災拠点等

**■ソフト施策**

- ・「まちづくり」や住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの検討
- ・高床式住まいの推進
- ・マイ・タイムラインの普及
- ・公共交通機関との洪水情報の共有
- ・住民への情報伝達手段の強化

# 【信濃川水系緊急治水対策プロジェクト 河川における対策】



## ■河川における対策

### 主な対策箇所

#### ○直轄管理区間

- ・災害復旧 田中橋、海野等の権限代行箇所含む
- ・河道掘削 立ヶ花狭窄部等
- ・遊水地整備 千曲川中～下流に5箇所
- ・大町ダム等再編
- ・大河津分水路改修

#### ○長野県管理区間

- ・災害復旧 各箇所
- ・改良復旧 谷川(佐久市)、田子川(佐久市)、滑津川(佐久市)、千曲川(栄村～飯山市)、余地川(佐久穂町)、抜井川(佐久穂町)、沢山川(千曲市)
- ・内水対策 浅川・三念沢(長野市)、岡田川(長野市)、皿川(飯山市)
- ・遊水地整備 黒沢川(安曇野市)、千曲川上流(佐久市)

#### ○新潟県管理区間

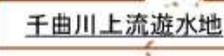
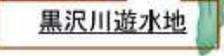
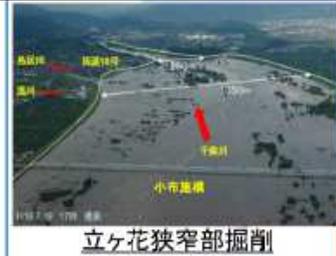
- ・災害復旧 各箇所
- ・改良復旧 信濃川本川

# 【信濃川水系緊急治水対策プロジェクト 主要対策の進め方】

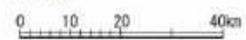
上下流や本川支川の信濃川流域全体を見据え、

- 立ヶ花狭窄部上流の緊急的な堤防強化（粘り強い河川堤防構造）
- 下流から計画的に行う堤防整備や河道掘削（大河津分水路改修、立ヶ花狭窄部掘削）
- 上流で洪水を貯留するダム（大町ダム等再編）や遊水地の整備

といった河川におけるハード対策をフル動員し、各管理者が連携・調整しながら、段階的かつ緊急的に対策を講じる。



凡例	
緑色の線	流域界
茶色の線	界地
青い線	河川
黒い線	既設ダム(直轄)
赤い四角	基準地点(高水)
青い四角	基準地点(低水)
赤い丸	主要地点
赤い斜線	想定氾濫区域(国管理区間)
黒い斜線	大県管理区間

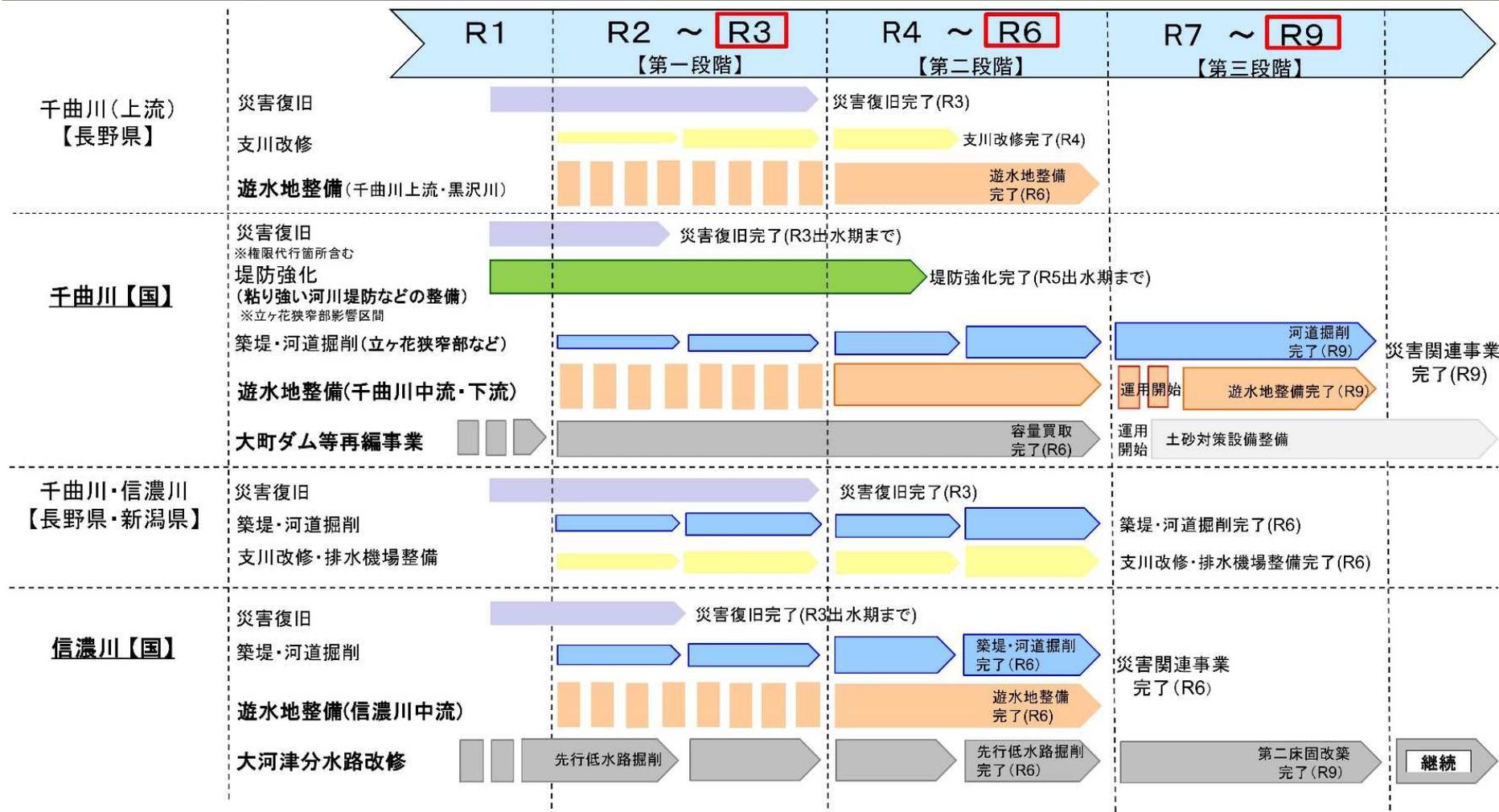


国土交通省資料より

# 【信濃川水系緊急治水対策プロジェクト ロードマップ】

## 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト ロードマップ

- 【第一段階(復旧)】 災害復旧を令和3年度までに完了(国(権限代行含む)は令和3年出水期まで、県は令和3年度)。並びに大河津分水路などの下流域の整備に応じた河道掘削(立ヶ花狭窄部など)を順次実施
- 【第二段階(復興)】 改良復旧である堤防強化(粘り強い河川堤防構造など)や遊水地、大町ダム等再編事業(容量再編)を完了
- 【第三段階(復興)】 遊水地、河道掘削(立ヶ花狭窄部など)を令和9年度完了

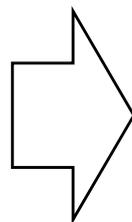


## 【取組の進捗状況】

### ● 河川における対策

- 河道掘削

一級河川 沢山川 千曲市



(Build Back Better のポイント)

河川の流れを阻害する河川内の植物を除去するとともに河道掘削を行い、河川の流下断面を確保することにより、持続可能な河道の流下能力の維持・向上を図った。

# 【取組の進捗状況】

## ● 流域における対策

- ・ ため池等既存施設の補強や有効活用
- ・ 雨水貯留施設の設置
- ・ 田んぼダムを活用した雨水調節機能の確保

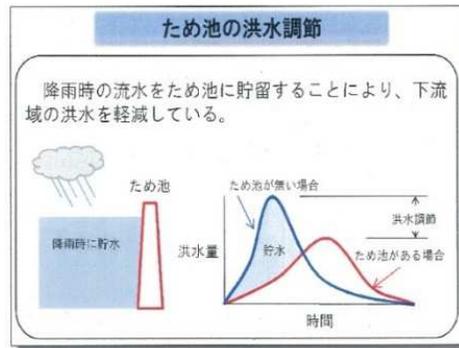
21市町村

15市町村

5市町村

(市町村数は、取組を実施又は検討中の数)

### ため池の有効利用



### 田んぼダム

#### 田んぼダムの仕組み

田んぼは、畦（あぜ）に囲まれていて、水を貯めることができます。  
そこで、田んぼの排水口に排水管より小さな穴の開いた調整板を設置し、水の流出を抑えて大雨の時に水田内に水を貯留させます。



※農林水産省HPより

### 雨水貯留施設の設置



### 各戸貯留施設



# 【取組の進捗状況】

## ● まちづくり・ソフト施策の取組

- ・ マイ防災マップ、マイタイムラインづくり 全市町村
- ・ 要配慮者利用施設の地域防災計画への位置付けと避難確保計画の作成 全市町村
- ・ 住民への情報伝達の強化 全市町村

(市町村数は、取組を実施又は検討中の数)

### マイタイムラインづくり



【記入例】

風水害から身を守る！  
「マイ・タイムライン」をつくってみよう！



知って備える	①住んでいる地区の災害リスクを知る ②避難場所・経路を調べる ③警報等の内容を調べてどんな行動をとるか知る ④災害発生前後の情報収集方法を調べる	<p><b>MEMO</b></p> <p>☆住んでいる地域：土砂災害警戒区域 ○○川浸水想定区域</p> <p>☆避難場所：○○小学校 ☆移動手段：例) 徒歩 ☆移動時間：30分</p> <p>☆避難開始のタイミング：避難準備・高齢者等避難開始が発令されたとき</p> <p>☆情報収集先：ラジオのニュース 長野県河川砂防情報ステーション</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                 ほかに・・・                  地域のハザードマップなども確認しましょう！                  避難するときに配慮が必要な家族や支援してくれる隣人など考えてみましょう！                 <span style="float: right; color: red; font-weight: bold;">Check!</span> </div>
状 況	気象・避難情報	あなたの行動
大雨発生の可能性	レベル1 早期注意情報 (警報級の可能性)	○テレビやインターネットで天気予報をチェック ○家族の今後の予定や居場所を確認 ○非常用持出品を確認 ○家の周りに風でとばされるようなものがないか確認
重大災害の兆候	レベル2 注意報	○長野県河川砂防情報ステーションで雨量や河川の水位を確認。 ○避難場所や交通手段を再確認 ○携帯電話の充電を確認

⋮

### 要配慮者利用施設の地域防災計画への位置付けと避難確保計画の作成



要配慮者利用施設での訓練の様子

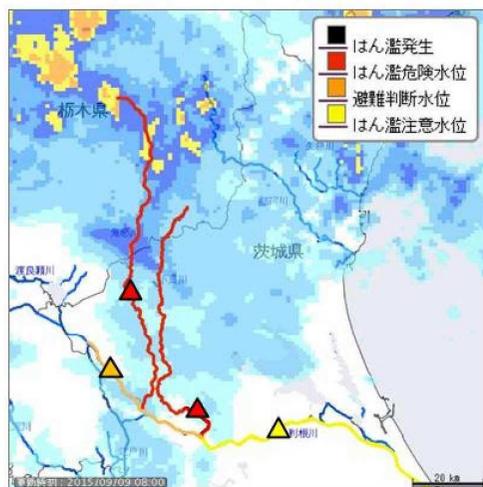
# 【水位情報の提供(水害リスクライン)】

## 水害リスクラインによる水位情報の提供

河川毎の危険度表示を、一連区間ではなく小区間(地先)毎にきめ細やかな洪水情報を発信し、より身近な箇所の危険度、災害の切迫感をわかりやすく伝えることで住民の円滑な避難行動を促す。

### 現行の洪水予報・危険度の表示

水位観測所の水位で代表して、一連区間の危険度を表示



〈 従来 〉

### 水害リスクラインを活用した洪水予報・危険度の表示

左右岸別に地先ごとの危険度を表示  
水位情報、カメラ画像、浸水想定区域などの情報を一元化



〈 水害リスクライン 〉

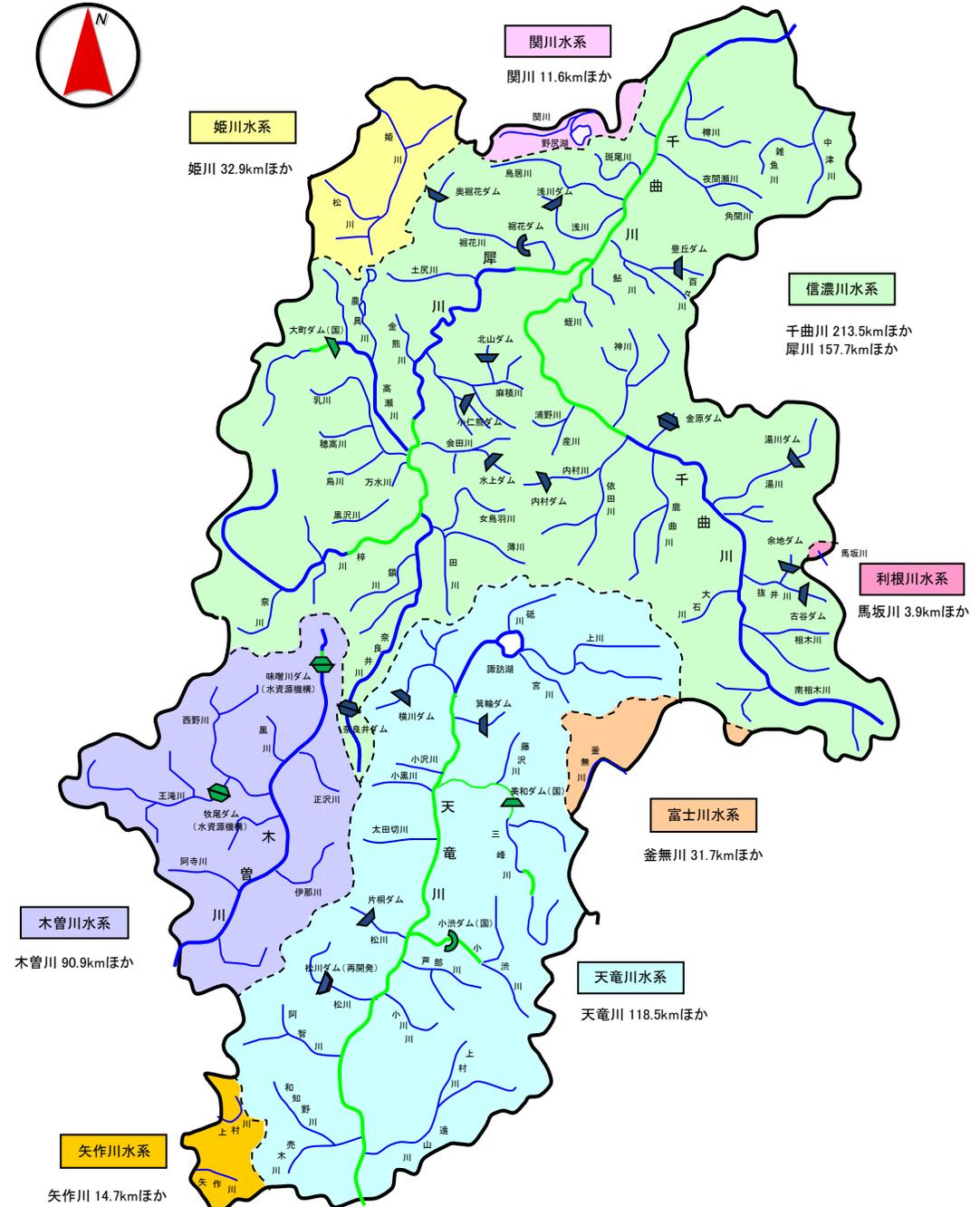
# 【災害を踏まえた取組】

## ● 長野県全体での「流域治水」の推進

### 長野県内の水系一覧

信濃川水系  
天竜川水系  
木曾川水系  
姫川水系  
矢作川水系  
富士川水系  
関川水系  
利根川水系  
計 8水系

各水系において、流域の関係者が協働して取り組むための「流域治水プロジェクト」を、国が中心となり、今年度中に策定の予定  
長野県内でも、利根川水系を除いた7水系において「流域治水プロジェクト」を策定し、長野県全体として「流域治水」の取組を推進する。



# ● 長野県全体での「流域治水」の推進

## 長野県流域・ソフト対策検討委員会

(構成: 県関係部局)

長野県流域・ソフト対策 検討委員会	
(委員)	
危機管理部長	
企画振興部長	
総務部長	
健康福祉部長	
環境部長	
農政部長	
林務部長	
建設部長(委員長)	
教育委員会教育次長	

検討委員会 幹事会	
(幹事)	
危機管理部	危機管理防災課長
企画振興部	地域振興課長 市町村課長
総務部	財産活用課長
健康福祉部	地域福祉課長
環境部	水大気環境課長 生活排水課長
農政部	農地整備課長
林務部	森林づくり推進課長
建設部	道路管理課長
	河川課長(幹事長)
	砂防課長
	都市・まちづくり課長
	建築住宅課長
教育委員会	教育政策課長
	保健厚生課長

- 流域治水の取組は、市町村が主体となって進めるものが多く、取組内容を具体化する必要あり
- 長野県関連部局で流域治水の取組を推進するにあたり、活用可能な補助制度や、先進事例をまとめた「流域・ソフト対策市町村取組メニュー表」を作成

市町村

メニュー表の提示  
取組促進の依頼

「流域・ソフト対策市町村取組メニュー表」を参考に各市町村で取り組む流域治水のメニューを検討。

## 〇〇水系流域治水協議会

(構成: 国、県、流域市町村)

今後、県内の各水系に設置した流域治水協議会において、関係機関が連携して行う対策を「**流域治水プロジェクト**」として取りまとめる。

<プロジェクトにおける対策の3つの柱>

①河川における対策

②流域における対策

③まちづくり・ソフト施策

・県と市町村の取り組みを取りまとめ、流域治水プロジェクトに位置づけ。

県内の各水系における  
「流域治水」取組の推進

# 5 ボランティア、NPO等の活動

# 5-1 ボランティア、NPO等の活動

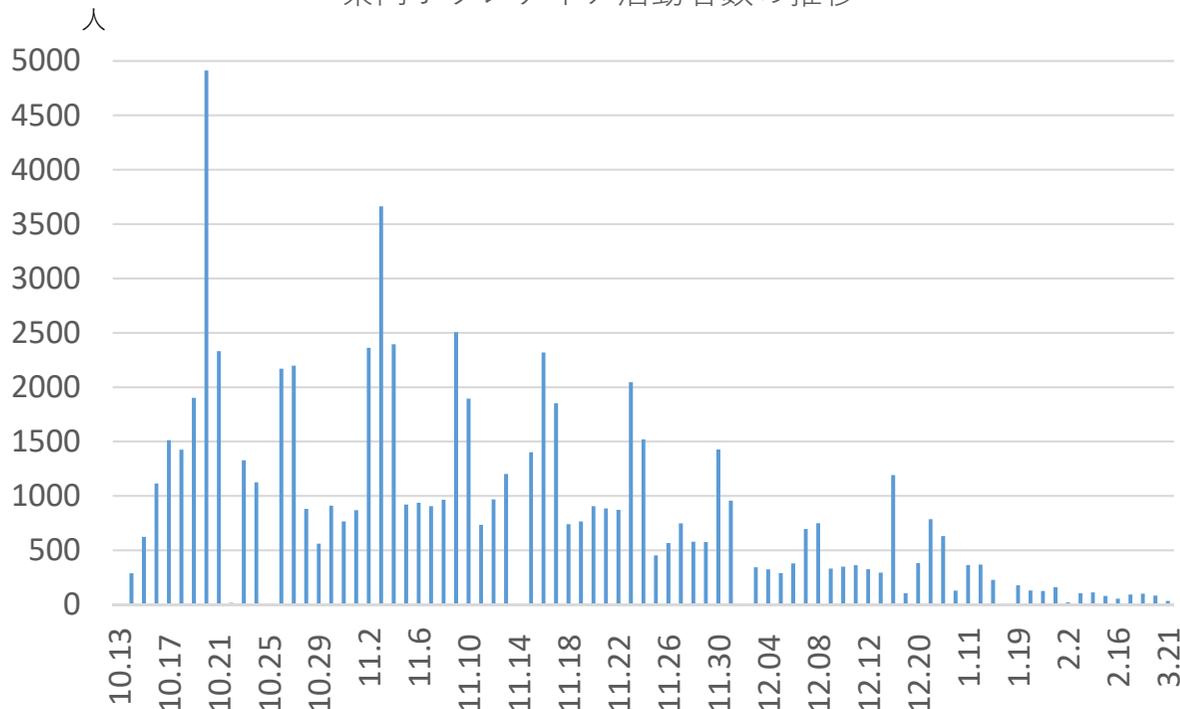
## (1) 災害ボランティア活動

### 【取組の進捗状況】



長野市災害ボランティアセンターりんごサライト（長野市穂保）

県内ボランティア活動者数の推移



- ・ 発災後、10月16日までに県内11市町村で災害ボランティアセンター開設 (R2. 3月末まで)
- ・ 全国から参加したボランティア 延72,989人
- ・ 長野市では、6月6日以降家財搬出等のボランティア活動再開 (6/6~8/31 延131名活動)

## 【活動状況】

□泥かき



□災害廃棄物の運搬ボランティア



□炊き出し



□救護



□清掃



## 【課題・今後の取組】

- ・ボランティアニーズを把握するため、生活支援・地域ささえあいセンターの訪問調査等を継続
- ・ボランティア活動を通じ顕在化した福祉的ニーズを抱えた個人・世帯への切れ目のない支援
- ・今後の大規模災害発生に備え
  - ①災害ボランティアセンター体制の充実
  - ②新型コロナウイルス感染症対策を検討

## (2) NPO等の活動



情報共有会議で活動状況を共有



重機を持ち込み災害ごみを撤去



子どもたちに居場所と食事を提供

### 【県の取組】



長野県災害時支援ネットワークと県が協力して、  
長野県NPOセンターを運営主体とする  
“ONE NAGANO基金”を立ち上げ。

県から基金の原資として1,000万円を拠出(補助)。

#### ◆助成の状況

第一次：32件（972万円）を採択、助成

第二次：17件（360万円）を採択、助成

### 【課題と今後の取組】

#### 課題

- ・ 県外等の支援団体から地域の活動に引き継ぐ過渡期を迎えており、支援の手が滞らないよう連携が必要。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底したうえでの活動が必要。

#### 県の取組

- ・ 災害時支援ネットワークや県NPOセンター等と引き続き連携、情報を共有。
- ・ 他の民間助成金等の情報も積極的に提供、助言。

# 6 地域の取組

# 6-1 地域の取組（佐久地域振興局）

## ～或る自治会組織の活動～

### ときわ ＜佐久市常和区＞

**【取組の概要】**  
 安心・安全な地域づくりを進めるため、地域住民が主体となって**避難体制の強化**（自主避難基準、防災リーダーの育成等）、**災害伝承活動**（活動だより・復興誌発行等）及び**復興拠点の整備**（つつじ公園整備等）を行う。  
 ＜令和2年度地域発 元気づくり支援金事業活用＞



〔消防団と図上で災害危険個所を確認〕



〔地元企業とコロナ時代を踏まえた  
“一時避難所に関する協定” 締結〕



〔“常和区防災マップ”を作成〕

**（参考）佐久市常和区**

- ◆人口：467人 世帯数：約160戸（R元.4.1現在）
- ◆令和元年東日本台風により地区内を流れる田子川・さんがり川が氾濫し、甚大な被害を受ける。
- ◆全壊・半壊等13戸 床下浸水37戸



〔被災当時の状況〕

**常和区自主避難ルール**

この自主避難ルールは、令和1年10月の台風19号災害を踏まえて、令和2年8月1日  
 「自分の命は自分で守る」ために常和区独自に定めたものです。随時改定します。  
 （数値は目安で避難指示は水位上昇時間、避難時間、自視判断により指示されます）

警戒レベル	区民	消防団	自主避難の基準		行政からの情報	
			川沿い・土砂災害特別警戒区域	左記以外の全域	避難情報	気象情報
1	気象情報に注意					
2	・気象情報のチェック ・避難行動の確認 どこへ、どうやって逃げるのか	待機 出動	下記の基準値のいずれかに達するおそれがある時、区民が自主避難放送を行う。			注意 （大雨）
3	★高齢者 障がい者 乳幼児等は 避難開始 〇一般区民は 避難準備	雨量 水位	雨量 水位			警戒 （大雨）

防災マップ裏面には「自主避難ルール」を掲載（例）  
 川沿いでは、公民館前水位70%で全員避難

※佐久地域振興局管内の「地域発 元気づくり支援金事業」を活用した台風災害からの復旧・復興事業は、全部で5事業

## ① インフラの早期復旧

### ● 道路・橋梁・河川

#### ○ 海野宿橋・千曲川河川堤防護岸工事

- ・11/15応急工事完了、しなの鉄道運行再開
- ・6/23河川工事概成（築堤盛土完了）
- ・護岸工事、令和2年度内完了見込み
- ・海野宿橋の橋台工事を実施中 →



（Build Back Betterのポイント）  
 国代行工事による護岸、橋梁基礎の強化工事（河道拡幅、護岸基礎の補強、橋台基礎への杭実施）

#### ○ 田中橋周辺護岸工事

- ・橋台裏の県道が洪水により崩落し1名が死亡
- ・3/11、橋梁周辺の護岸等を復旧し通行再開
- ・現在、周辺の護岸・根固工事を実施中

#### ○ 内村橋架替工事

- ・洪水による河床低下で橋脚が沈下し全面通行止中
- ・原因となった橋脚のない新たな橋梁の工事を実施し、令和3年11月の通行再開を目指す

## ② 営農再開に向けた支援

### ● 農業被害の状況

（単位 千円）

作物被害		生産施設・農業機械		農業集落排水施設	
面積 (ha)	金額	棟等 (箇所)	金額	箇所	金額
135.2	38,405	142	177,566	1	20,000
農地		農業用施設		計	
箇所	金額	箇所	金額	金額	
892	891,000	780	5,570,000	6,696,971	

### ● 農業用水の確保による営農再開

- ・頭首工の被災により用水の確保が困難となった農地 2,368ha
  - 内 仮配水等により水稻作付け可 2,295ha (96.9%)
  - 通水不可(代替作物栽培等) 73ha (3.1%)
- ・来春の営農に向け、令和3年3月の通水を目指す



### ③ 地域公共交通の確保

#### ● 鉄道路線代替輸送支援

○ **しなの鉄道** (負担割合: 国1/4、県9/16、沿線市町3/16)

代行バス運行区間	運行期間	利用者数
田中駅—上田駅	R元.10.23～R元.11.14	バス 1,076人/平日 新幹線1,443人/平日

○ **上田電鉄** (負担割合: 国1/3、県1/3、上田市1/3)

代行バス運行区間	運行期間	利用者数
下之郷駅—上田駅	R元.10.15～R元.11.15	2,935人/日
城下駅—上田駅	R元.11.16～R3.3.27(予定)	1,608人/日※

※ R2. 8. 31時点

#### ● 上田電鉄別所線 千曲川橋梁復旧工事



(Build Back Betterのポイント)

上田市が事業主体となり、上田電鉄等と連携して実施

- ・第1期工事(～6月上旬): 橋桁撤去、橋台構築・橋脚補強
- ・第2期工事(11月～): 橋桁架設、橋脚補強等
- ・**全線運行再開: 令和3年3月28日(日) (予定)**

### ④ 観光復興に向けた取組

#### ● つながる灯りキャンペーン (地域振興推進費事業)

管内市町村及び観光団体と連携し、落ち込んだ地域内観光需要を喚起

#### ○ つながる灯り「#lightup\_ueda」 インスタグラムキャンペーン

- ・地域の復興を感じる「灯り」のある写真を募集(応募期間: R2.1.24～3.11)
- ・投稿写真数: 360件超

最優秀賞



#### ○ つながる灯り信州上田 観光キャンペーン

- ・アリオ上田にて上田地域の物産販売、缶バッチ製作、地域のPR等参加型イベントを開催(R2.1.25)
- ・イベント来場者: 1,350人

#### ○ 復興応援企画「がんばろう！ 上田」in 別所線上田駅

- ・園児が制作した応援メッセージ等の展示
- ・ミニコンサートの開催等(R2.2.17)



#### ● 復興に向けた地域の盛り上がり

#### ○ 別所線かけはしプロジェクト

- ・長野大学生が上田駅前等で募った応援メッセージを中づり広告にして車内に掲載
- ・松任谷由実さんもメッセージを寄せ話題に。

# 6-1 地域の取組（長野地域振興局）

## (1) 地域課題を把握し、解決に向け検討

【各種会議等を通じ、地域課題（広域的な課題）等について議論・検討】

### 市町村長との意見交換

[長野市、高山村、須坂市、小布施町、千曲市]

### 長野・北信地域市町村副市町村長会議

(移動知事室)

### 【拡大版】長野地域活性化推進会議

(移動知事室)

### 長沼地域関係者との懇談

(移動知事室)

### 東日本台風被災者支援団体の視察

[めくめく亭(豊野)]

#### □ 災害廃棄物の保管場所や残土の処分場の確保

- ・ 平時から、有事の際の一時保管場所や処分場についての情報を広域で整理。
- ・ 遊休農地をごみ置き場として活用することの検討。(仮置き場、処分場となり得る候補地、遊休農地等の把握、地権者との調整)



#### □ 広域的な避難所の運用

- ・ 広域的に連携し、ホテル・旅館等を避難所として活用(各市町村とホテル等との協定の締結)(市町村内の宿泊施設受入可能数等の把握)(市町村域を越えた住民の受入も可能とする仕組みづくり)



#### □ 災害時の情報共有、広域的な防災対策

- ・ 災害時の適時の情報共有やスピーディーな安否確認
- ・ 河川掘削や堤防の強化
- ・ 国による千曲川の一元管理について要請



#### □ 地域産業や生活の再建

- ・ グループ補助金の申請支援
- ・ 新規就農者支援の充実
- ・ 地域住民と行政とが円滑なコミュニケーションをするための体制づくり
- ・ 住宅の解体など地元での再建に迷っている住民のフォロー

災害に係る課題について、市町村と県で共同研究

千曲川緊急治水プロジェクトの推進

地域産業の支援、住民と行政との円滑なコミュニケーションの仕組みづくり

## (2-1) 地域振興推進費を活用し、被災地の農産物の販売を促進

### 被害を受けた果樹の追跡調査を実施

冠水被害・土壌堆積のあった堤外、堤内の樹園地の生育状況を調査

#### 【りんごの追跡調査状況】

着果量は概ね確保され、果実肥大は順調。  
8月から収穫が始まっている。



復旧前  
(R元.12月)

復旧後  
(R2.7月)



### 首都圏や長野地域において販売・活用を支援



#### 新幹線マルシェ&「ONE NAGANO」復興支援 (JR東日本グループとの連携)



J R 東日本社員、  
銀座NAGANOスタッフと  
連携して実施

R2.9月～11月  
開催予定

場所:東京駅スクエアゼロ  
販売PR:ぶどう、りんご等



#### (仮)東京駅で長野を食べよう！ フェア

東京駅地下のレストランに  
おいて、ながの地域のぶどう、  
りんごを活用したフェアを開催



R 2.10月  
開催予定

#### ながの地域くだものまるごと商談会

R2.10.8(木) 開催予定

場所:ホテルメルパルク長野

果物の栽培農家や食品加工  
業者(売り手)と卸・小売・  
飲食・宿泊業等の実需者  
(買い手)との商談会の開催



#### サッカー公式戦会場での販売

R2.10月開催予定

A C パルセイロの公式戦会場で  
「復興りんご」を販売



## (2-2) 地域振興推進費を活用し、被災地の農産物の販売を促進

### 新幹線マルシェ & 「ONE NAGANO」復興支援 (JR東日本グループとの連携) R2年9月10日～11日開催の様子

▼ 長野駅：駅長アルクマのお見送り

▼ 東京駅：今年初めての新幹線マルシェにぶどうを求めて長蛇の列



▼ 東京駅から須坂のぶどう園をオンラインで繋いでぶどう狩り



▲ 須坂市産ぶどう「シャインマスカット」と「ナガノパープル」を販売⇒1時間で完売

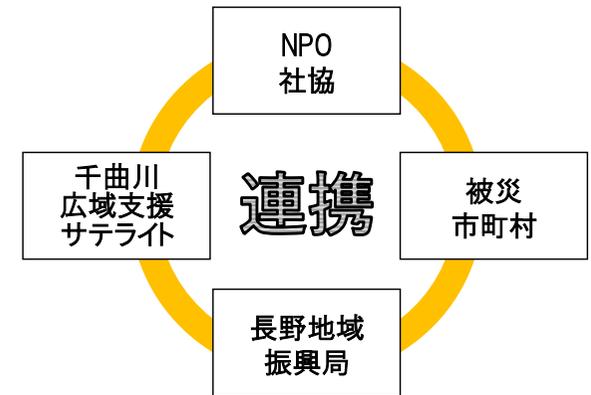
### (3) 復興支援のためのウェブサイトを開設し、被災地の取組を応援

#### 【長野地域版「ONE NAGANO」PR事業】



- 復興に係る様々な情報を広域的・一元的に発信
- 「『まだ』終わっていない」をキャッチフレーズに、主に以下のコンテンツを掲載

ウェブサイトはこちら⇒

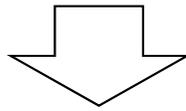


被災自治体との連携	被災地域の現状 地域住民からの投稿	被災者・支援者 インタビュー	被災者と支援者との マッチング支援	プロスポーツチームからの メッセージ	SNS「note」による発信
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 復興関連イベント情報や、長野市が発行している復興だより「ONE HEART」等、被災自治体の復興関連情報の周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 被災地の現状を伝える写真等の掲載</li> <li>● 情報投稿フォームを設置し、地域住民の声を随時受付・発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 復興のために積極的に活動する被災者やそれを力強く後押しする支援者へのインタビュー記事や写真、動画を掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 復興関連ボランティア等の支援を行っている団体の活動の紹介を通じた、被災者と支援者とのマッチング支援</li> </ul>	<p>プロスポーツチームのメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 長野地域に本拠地を置くプロスポーツチーム※の応援メッセージや復興のための活動を紹介</li> </ul> <p>※： AC長野パルセイロ 信州ブレイブウォリアーズ 長野ガロンス ポアルース長野</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インタビュー記事では掲載されないようなこぼれ話や、地域の若手ライターによるよりローカルな話題を発信</li> </ul>

# 6-1 地域の取組（北信地域振興局）

## 【地域の認識】

過去に多くの災害を経験しているため、治水への関心は高かった



- 緊急治水対策プロジェクトにより、課題が顕在化し、整備が進むことへの感謝、期待
- 地元自治体からは、プロジェクトによる整備計画や事業進展が地域の関心事であるので、国や県との連携、情報共有の要望がある

## 【自治体の取組】

- 中野市 8月下旬から市内4公民館でマイタイムライン作成の講習会を開催し38名が参加
- 飯山市 地元区長との意見交換や市職員から集めた反省を基に、「令和元年東日本台風災害における課題と対応策」をまとめる
- 長野・北信地域副市長村長会議  
「災害時の市町村の広域的な対応」について検討する（R2.6.29開催 第2回会議）  
⇒ 年度内に第3回会議の開催を計画（北信地域）

北信地域の被害は、

- ・住宅地、農地への浸水、土砂流入・堆積
- ・道路、河川、農業用施設等の損壊

- 道路、河川、農地、農業用施設等は、災害復旧事業による復旧工事
- 飲食店、施設農家等は、グループ補助金、特用林産施設災害復旧事業等による事業再建
- 小規模事業者、商店街等は、持続化給付金、商店街にぎわい創出補助金による事業再建

### 【地域の支援団体による取組】

信州なかの農業再生復興ボランティア

- 支援対象 支援要請した農家（65名）
- 支援回数 9回（11月29日～12月8日）
- 参加人数 延べ688名
- 支援内容 106ほ場、1,214a  
幹回りの排土、リンゴの片付け  
漂着物の片付け、進入路確保



### 【営農の状況】

- 農地の排土は、水田は春、畑は6月に完了
- 頭首工等が被災した箇所は、仮設で対応
- 水稻等の春の作付への影響はなし
- 果樹も一部で枯死が見られたが、新たな植樹等で対応
- キノコ栽培では、2軒が営農再開を断念

（参考）農業被害の状況

項目	面積・箇所	被害額（千円）
作物被害	689ha	294,074
生産施設・キノコ等農業機械	397箇所	513,436
農地	613箇所	4,181,000
農業用施設	320箇所	3,033,000
合計		8,021,510



## 令和元年東日本台風災害 復旧・復興方針 第8次改訂について

令和2年（2020年）9月25日  
長野県企画振興部総合政策課

令和2年度9月補正予算案に盛り込まれた取組を追加するとともに、取組の状況を踏まえ、改訂を行いました。

### 【主な改正点】

#### ○令和2年度9月補正予算案

- ・ 中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業
- ・ 地域企業再建支援事業
- ・ 流域下水道事業

#### ○その他、支援策等の進捗状況に応じた内容の改訂

※ 復旧・復興方針の本文は、長野県公式HPにおいて掲載します。  
<https://www.pref.nagano.lg.jp/bosai/2019typhoon19.html#fukyuufukukouhousin>